

アイデア提案部門

優良アイデア賞

○課題提案

(テーマ1：全庁や複数の部署に共通する業務の改善について)

- ・「乗合公用車」と「臨時使送便」の提案
～各支所公用車の効率的運用について～
- ・各種通知文等に「建物名及び所在階数」を記載することによる市民サービスの向上

アイデア提案部門

優良アイデア賞

○課題提案

(テーマ2：効果的なごみ減量施策について)

- ・ 新3R推進啓発事業
-Realize, Record, Retry, and more Reduce-

改善実績部門

優秀実績賞

- ・桜島住民用防災ヘルメット貸与事業

改善実績部門

優良実績賞

- ・ 不在電話発信履歴表の設置
- ・ 市民農園使用者データの一元化による業務の効率化
- ・ 工事関連書類一括作成システムによる事務の効率化
- ・ 投票所整理券の様式変更

優良アイデア賞

「乗合公用車」と「臨時使送便」の提案 ～各支所公用車の効率的運用について～

問題点・目的

各支所では各課所管の公用車をそれぞれで管理・運用。

- ①自課の公用車が使用中の場合、やむを得ず公共交通機関で時間と経費をかけて外勤をするケース
- ②急ぎの書類を本庁に届ける用件があっても、窓口対応等により日中は時間がなく、時間外に外勤をするケース

⇒このようなことから、公用車を使用した支所内の職員の外勤予定について情報共有を図り、他課公用車への同乗（「乗合公用車」）や、他課職員への書類の引き渡し（「臨時使送便」）を行う体制を構築することによる業務改善を図る。

提案内容①

1. パワーオフィスへの外勤情報入力

支所各課で外勤する職員は、外勤のスケジュールが確定した時点で本人のパワーオフィスのスケジュールに外勤に関する情報を入力する。

併せて、支所内の各課共通スケジュールに外勤情報(時間、外勤先、公用車のナンバー、同乗及び使送依頼の可否など)を入力(公開)する。

2. 同乗等の連絡、依頼

支所内のその他の職員(同一所属か否かは問わない。)は、外勤情報を確認し、自身の外勤と合わせて公用車への同乗ができないか、また、外勤先方面への使送を要する用務等がないか確認し、同乗や使送依頼が可能であれば、外勤する職員に連絡のうえ、調整・依頼する。

提案内容②

1. パワーオフィスへの外勤情報入力



T支所A課職員

- ※本庁の「●●研修」に参加予定
- ※自課公用車を使用予定



【パワーオフィス・スケジュール】

※本人と各課共通スケジュールに入力

(入力例)

《時間》10:00~12:00
《場所》外勤(本庁)
《車両No.》12-34
《用務》●●研修
《同乗・使送》同乗○○○ 使送○

3人同乗可の場合は、
◎を3つ記載

臨時使送が可なら、
◎を1つ記載

※自課公用車による外勤予定を入力(公開)
※同乗できる人数や、臨時使送が不可となった場合は内容を随時修正。

(修正入力の例)

《同乗・使送》同乗○○× 使送×

2. 同乗等の連絡、依頼



T支所B課職員

- ※急な用務で本庁に外勤が必要
- ※自課公用車は別の職員が使用中



T支所C課職員

- ※同じ「●●研修」に参加予定

連絡・調整後

「乗合公用車」

B課職員の公用車に同乗する



T支所D課職員

- ※急ぎの書類を本庁に届けたい
- ※窓口業務のため外勤が難しい

連絡・調整後

「臨時使送便」

B課職員に書類送付を依頼すれば、
本庁への外勤は不要となる。

確認

確認

効果



1. 業務上の効果

- ・公用車を効率的に運用することができる。
- ・通常の使送便以外にも本庁・各支所間の連絡等の機会を増やすことができ、業務効率の向上を図ることができる。

2. 施設管理上の効果

- ・多くの職員が参加する会議・研修では、各支所からの公用車が減少し、駐車場の利用に関して市民等に不便をかけることが少なくなる。

3. 財政上の効果

- ・公用車を複数の職員で共用することにより、燃料費や公共交通機関の運賃代などの経費縮減を図ることができる。

4. 組織上の効果

- ・部局(課)をまたいで連絡・調整を行うことで、支所内における職員同士のつながりを創出することができる。

優良アイデア賞

各種通知文等に「建物名及び所在階数」を記載することによる市民サービスの向上

問題点・目的

本庁の各部署は、原則局を単位として5つの建物（本館、別館、東別館、みなと大通り別館、西別館）に分散され、関連のある部署が各階に配置されている。市民等が各部署の配置情報を得るためには、市ホームページや各施設の案内板で確認するほか、窓口等の職員に尋ねる必要がある。

⇒市民等が迷わず関係部署に行けるよう、また、職員が市民等から尋ねられた際にスムーズな案内を可能とするよう、各種通知文等に「建物名及び所在階数」を記載することにより、市民サービスの向上などを図る。

提案内容②

【その他】

- ・市民課や市民税課など多くの市民が場所を認識している部署以外で特に取り組む。
- ・市民が来庁することを想定している各種通知文等について取り入れる。
- ・封筒への記載も考えられる。
- ・建物情報を記載するか否かについては、各種通知文等の性質によって各部署で判断する。

効果

1. 市民サービスの向上

市民が、

- ・建物の名称を知っていれば、
- ・最寄の窓口や職員に尋ねれば、

⇒ ストレス無く行きたい部署に辿り着くことができる。



2. 職員の接遇力・高感度のアップ

職員・臨時職員を問わず、全ての職員が、

⇒ 市民が各種通知文等を持参していれば、速やかに案内することができるため、困っている市民に対して積極的に声かけしやすくなる。



行政に対するイメージアップ

優良アイデア賞

新3R推進啓発事業

-Realize,Record,Retry,and more Reduce-

問題点・目的

本市では「家庭ごみ1人1日100グラム」削減という目標を掲げているが、「100グラム」という「重さ」や、自分のごみ排出量が分からないといったことや、ごみ減量の取り組みを全市的に実践する機会が少ないなどの現状がある。

⇒このことから、新たにRealize(知る)、Record(記録する)、Retry(実践する)の「新・3R」の取り組み推進により、ごみ減量に対する認識を新たにし、市民全体で減量に対する行動に繋げることで削減目標達成の一助を図ろうとするもの。

提案内容①

1. Realize(知る)

- ・ごみ出しカレンダーに「100グラム」という重さを紹介
- ・ごみの「種別ごと」の重さ等についても紹介



■(参考)平成29年鹿児島市ごみ出しカレンダー



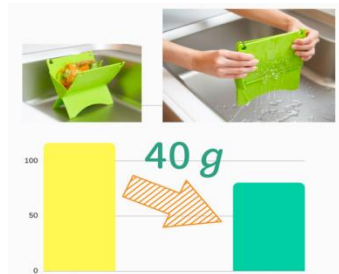
■(案)身近な100グラムのもの紹介



■(案)それぞれ物の標準的な重さを記載する

2. Record(記録する)

- ・ごみ出し市民モニター制度を採用し、
 - ⇒モニターの家庭から出るごみの量(重さ)を種類別に記録
 - ⇒生ごみの水切り効果について経時的に記録
 - ⇒世帯別のごみ量を記録
- ・提供いただいたデータや記録内容を、市民のひろばやHPを用い広く周知



■(案)市民モニターの取り組みや結果を紹介

提案内容②

3. Retry(実践する)

- ・1と2で知りえた知識をごみ出しで実践できる「ごみ減量袋」を全戸配布

【ごみ減量袋のサイズ】

- ・袋のサイズは15リットル程度の小さめのものとするこゝで、数日間一杯になり、手に取って重さを体感することができる。

【記載内容】

- ・ごみ減量袋には、「ごみ排出量の目安」「削減目標」「ごみ減量・分別への啓発」「分別方法」「ごみ減量のポイント」等を記載する。
- ・事業財源確保のためごみ減量袋の裏面にはごみ袋広告掲載制度を導入

【配布回数】

- ・配布回数は3か月に1回、年に4種類(例:燃えるごみ・燃えないごみ・空き瓶ペットボトル、プラスチック)程度(予算の範囲内で調整)

【配布方法】

- ・市民のひろば等に合わせ同梱委託(ポスティング)又はごみ出しカレンダーに同梱など



■(参考)福岡市ごみ袋(燃えるごみ用)

効果

1. Realize(知る)

- ・ごみ(物)の重さについて知り、減量に向けた行動に繋げることができる。

ごみ出しカレンダーを見て、100グラムの感覚が身についたぞい。
ごみの重さも分かって、減量のイメージが沸いたぞい。



2. Record(記録する)

- ・市民モニターの取り組みを参考にして、具体的な行動に繋げることができる。

水切りだけでそんなにごみの量が減るのね。
具体的な方法も書いてあるし、私もやってみようかしら。



3. Retry(実践する)

- ・市民一人ひとりが再認識するきっかけとなり、ごみ削減目標を効果的に周知することができる。

鹿児島市もごみの減量に取り組んでいるんだ・・・せっかくだらなごみ減量袋があることだし、有料化を防ぐためなら、僕もやってみよう！



優秀実績賞

桜島住民用防災ヘルメット貸与事業

現状・問題点

- ①桜島の噴火による噴石や降灰から身を守るために、防災ヘルメットは桜島住民にとって必需品であるが、平成29年1月12日の桜島火山爆発総合防災訓練において、いまだにヘルメットを所持していない住民や、10年以上前の古くなったヘルメットを使用している住民が、多く見受けられた。
- ②いつ起こるかわからない大規模噴火に備えるため、28年度内に全島民へのヘルメットの配布を検討したところ、全島民約4,300人分の購入費用の捻出はすぐには難しい状況であった。

改善内容

防災の協定等を締結している企業等に協賛を募集(平成29年2月)したところ、14の企業・団体から、計2,000個の申し出があったため、不足・予備分の残り2,650個を危機管理課の執行残で対応することで、全住民に対応できる防災ヘルメットを28年度内に確保することができた。

効果

- ・住民の安心・安全が向上するとともに、防災意識の向上が図られた。
- ・企業協賛を活用したことで、経費の節減効果が生じた。
(2,000個×1,500円=300万円 ※ヘルメット1個1,500円)
- ・配布に際して地元の町内会と連携したことで、町内会との結びつきが深まったほか、町内会による住民の安否確認の機会としても活用できた。



優良実績賞

不在電話発信履歴表の設置

現状・問題点

当係は、高齢者福祉、障害者福祉、介護保険、地域福祉（弔慰金関係）などさまざまな業務を担っているが、外線電話番号が2本しかなく、不在着信等折り返しにいただく電話でも、心当たりの福祉業務等を聞かなければならなかった。

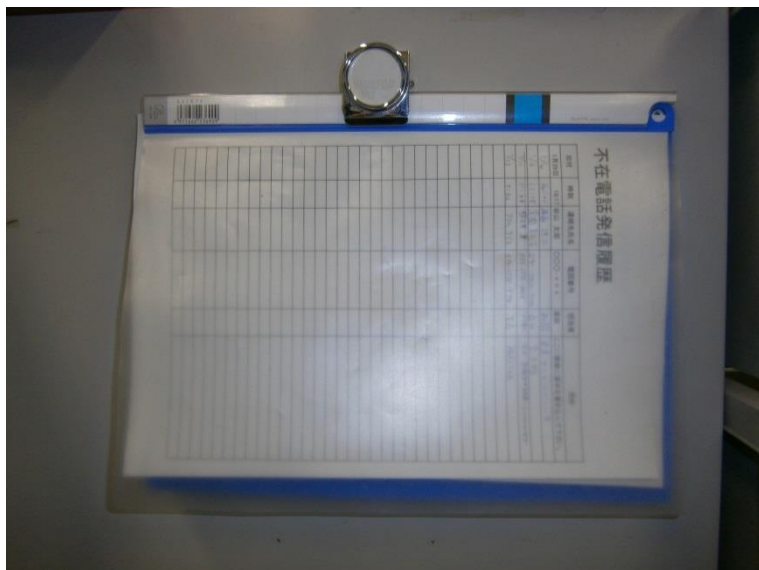
また、電話を掛けた者が別件対応中や不在の場合は、電話を掛けた者が不明ということもあった。

改善内容①

「不在電話発信履歴」という表を作成し係内中央に設置した。電話を掛けたが、不在着信となってしまった場合は、電話を掛けた相手や時間、要件等の情報を共有することにした。

改善内容②

不在電話発信履歴表



効果

- ・折り返しの連絡が来た時も、担当者が別件の対応中や不在であっても、相手に用件を伝えることができ、的確な対応が取れるようになり、市民サービスの向上に繋がった。

優良実績賞

市民農園利用者データの一元化による業務の効率化

現状・問題点

これまで、市民農園使用者の使用料や使用状況、各年度の申込み状況、使用料の納付書作成用データ等は、年度毎にエクセルファイルを作成していた。市民農園は最大3年間使用できるため、一人の利用者に関するファイルが複数存在することになり、年度更新の際には、確認作業に多大な時間を要していた。

改善内容①

市民農園區画毎に利用者、使用料、使用状況を一元的に管理できるようデータベース化することにより、毎年の利用者更新作業を省力化した。

改善内容②

氏名や住所等をデータベース化し、申請書の出力、宛名印刷などの加工処理に必要な情報を提供できるほか、データを財務端末に取り込み納付書を作成できるようにした。



効果

- ・市民農園使用者の新規・更新業務に係る作業時間等について大幅な短縮化が図れた。(時間外勤務が削減された。)
- ・複数回の入力を必要としないため、誤入力等を防止でき、確認作業が省略された。
- ・市民農園の区画毎の使用者情報と現状の管理状況の把握が容易となり、使用者への適正な指導が行えるようになった。

優良実績賞

工事関連書類一括作成システムによる事務の効率化

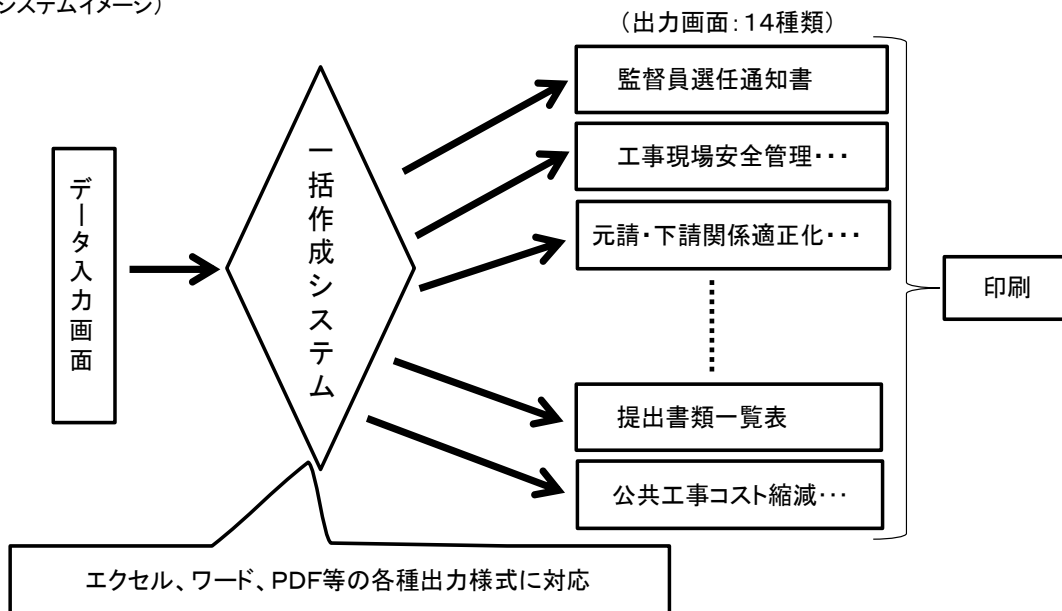
現状・問題点

- ①年間数多くの工事を発注しているが、工事監理を行うための業務として、工事ごとに受注者へ多数の書類を作成し、配布する必要があり、それらの作成には多くの労力を要していた。
- ②特に、書類の中には工事名、工期、受注者名など多くの重複する入力事項があり、書類ごとにその都度入力していたため、作成には多大な時間を要し、入力ミスの原因にもなっていた。

改善内容

重複する事項を一括して入力し、各書類に自動的に反映できるシステムを職員で作成し、書類の作成に要する労力や作成ミスを軽減した。

(システムイメージ)



第3-1号様式(第9条第1項関係)	工事番号	1000
監督員選任通知書		
平成28年8月1日		
〇〇電設 山田 太郎 殿		
鹿児島市長 森 博幸 印		
下記工事について監督員を定めたので通知します。		
工事名	〇〇電気設備工事	
工事場所	鹿児島市山下町11番1号	
工期	平成28年8月7日から 平成29年3月20日まで	

(出力画面事例)

効果

- ・個々の書類作成に要する時間の短縮が図られた。
- ・書類作成ミスの減による、印刷費用の削減が図られた。

優良実績賞

投票所整理券の様式変更

現状・問題点

期日前投票では宣誓書の記入が必要であり、これまでは投票所に来所した際に記入してもらっていた。

同投票では期日前投票システムにおいて氏名等で個人を検索し、本人確認作業をしていた。

改善内容①

各世帯に配付する、投票所整理券の裏面に期日前投票宣誓書を印刷することで、事前記入が可能となった。

投票所整理券に個人検索用のバーコードを印刷することで、バーコードリーダーでの個人検索が可能となった。

改善内容②

(変更後)

この欄に個人検索性のバーコードを印刷

(変更後)

投票所整理券の裏に期日前投票宣誓書を印刷

効果

- ・投票所整理券の裏面に宣誓書を印刷することにより、事前に記入することができるため、期日前投票の受付がスムーズに行えるようになった。
- ・バーコードの印刷により、端末で氏名等を入力せずに検索できるため、本人確認作業が迅速化され、選挙人の待ち時間が短縮された。
- ・期日前投票所における受付係及び名簿対照係の事務量が軽減されたことにより、従事者数を削減することができた。

(H24市長選:138名 → H28市長選:112名 26名減)